



EMS GROUP PR MAGAZINE

Vol.5

2025-2026

広域医療法人EMS
活動報告 / 広報 / 求人情報誌

2025-2026

EMS GROUP PR MAGAZINE

Vol.5 *Beyond Emergency Care*

救急医療の、その先へ。

ラジオ波治療 | 日本国内症例数 **820** 症例突破

児童養護施設対象ボランティア今年も開催
鹿児島児童文化会
～食と音楽と学びの集い～

医療法人EMS
8x8 MUSIC FES
出店!!

TOPICS!!

ベトナム国内**6**施設展開

Overseas Business Report

海外事業報告

NURAホーチミンOPEN

NURA Ho Chi Minh City Officially Opens

長崎・西海米軍基地との連携開始

メディア掲載・講演ご紹介

- ✓ベトナム国内初ラジオ波に成功
- ✓ベトナムでの一次救命処置 (BLS) 講習
- ✓マイリハ3店舗目OPEN

松岡救急クリニック 本院

鹿児島県南九州市川辺町
永田4164-8
0993-78-3789
<https://matsuoka-ems.net/>

T-松岡救急 クリニック神田

東京都千代田区神田鍛冶町
3-4 oak神田鍛冶町ビル1階
03-3518-5188
<https://tmckanda-ems.com/>

西海救急クリニック

長崎県西海市西海町
木場郷455-7
0959-23-0301
<https://saikai-ems.com/>

植田救急クリニック

山口県美祿市大嶺町
東分字沖田1210-1
0837-52-9237
<https://ueda-ems.net/>

松岡救急クリニック分院

鹿児島県曾於市末吉町二之方6013
0986-36-5505
<https://matsuoka-bunin-ems.net/>

西山救急クリニック

埼玉県加須市北小浜408
0480-63-3111
<https://nishiyama-ems.net/>

酒井救急クリニック

埼玉県越谷市大竹561-8
048-967-5339
<https://sakai-ems.net/>

広域医療法人EMS事務局

〒814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川6-36-13
092-707-6060
<https://matsuoka-ems.net>

EMERGENCY MEDICAL SERVICE



HP



Instagram



01 một NURA

Sustained Health with Active-Ai Screening

In Ho Chi Minh City Grand Open

ホーチミン市における健診センター「NURA」開院式典への出席について

NURAとは？

NURA（ニューラ）とは、富士フイルム株式会社が展開する先進的な健診サービス/健診施設ブランド。画像診断技術やAI（人工知能）を活用し、がんや生活習慣病などの早期発見を目的とした健診を、短時間かつ効率的に提供することを特徴としています。



NURAの最大の特長は、富士フイルムが長年培ってきた画像・医療機器・データ解析技術を統合し、CTやマンモグラフィなどの検査結果をAIが解析・診断支援する点にあります。これにより、検査の精度向上とスピード化を両立し、受診者は比較的短い時間で一連の健診と結果説明を受けることが可能となっています。



また、NURAは単なる検査施設にとどまらず「プロアクティブ（予防的）な健康管理」の考え方を重視しており、症状が出る前の段階で健康状態を把握し、将来的なリスクに気づききっかけを提供することを目的としています。この考え方は、近年アジア各国で高まりつつある健康意識や健診ニーズとも合致しています。

NURAハノイ

ベトナムにおける事業展開の一環として、日本の富士フイルムが中心となり進められている健康診断サービス「NURA」。2024年7月1日、ベトナム・ハノイ市にて初の拠点として「NURAハノイ」が開院されました。これは東南アジアにおける「NURA」の初拠点であり、ベトナム国内での健診文化の醸成と健診サービスの普及を目的とした取り組みの一つです。



NURAハノイは、富士フイルムが持つ画像診断機器やAI（人工知能）技術を活用し、がん検診や生活習慣病検査を中心とした健診サービスを提供する施設であり、東南アジアを中心に展開されています。ベトナムにおけるNURA施設は富士フイルムに加え、VJA社と現地医療機関であるTMCそして医療法人EMSが連携し、それぞれの強みを生かした協力体制が構築されています。また、NURAハノイではAIを活用したプロアクティブな健康チェックに対して短い期間で多くの方が検査を受けるなど早期検査への関心が高まっています。ベトナムの健康志向な国民性とAI技術+検診システムは非常に相性が良く、病気の早期発見による生活の質向上や、健康への意識改革の一助となることが期待されています。

NURAホーチミンOPEN

ベトナムにおけるNURA事業は、富士フイルム株式会社、VJA社、現地医療機関であるT-Matsuoka Medical Center（TMC）、そして広域医療法人EMSが連携してそれぞれの専門性を生かした協力体制のもとで運営されています。富士フイルムは技術およびシステム面での支援を担い、TMCはベトナム現地に根ざした運営基盤の構築と地域医療機関との連携を担当しています。広域医療法人EMSは、これまで国内外で培ってきた医療運営の知見をもとに、事業全体の方向性に関する助言、日本水準の医療技術指導、理事長による診察、ならびに医師・技師の派遣を行っています。

オープン式典には、富士フイルム関係者をはじめ、TMCおよびEMSの関係者が出席し、本施設開設の意義や今後の展望について共有がなされました。式典を通じて、三者が対等なパートナーとして連携し、長期的な視点で事業を展開していく姿勢が改めて示されました。

また、松岡理事長は特別ゲストとして招待され、式典においてスピーチを行いました。日本とベトナムをつなぐ医療連携の意義や、予防医療の重要性について言及し、今後の持続的な協力体制への期待を述べました。

今回のNURAホーチミン開設および式典出席は、EMSにとっても海外事業における連携の在り方を再確認する貴重な機会となりました。異なる立場や役割を持つ組織が協力し、それぞれの専門性を尊重しながら事業を推進することの重要性を現地で改めて実感することができました。

今後も私たち広域医療法人EMSは、富士フイルムおよびTMCとの連携を通じてベトナムにおける事業基盤のさらなる強化と、安定的かつ持続可能な事業運営に取り組んでまいります。



医療法人EMSでは、慢性的な関節の痛みに対する治療法として、ラジオ波焼灼療法（Radiofrequency Ablation：RFA）を実施してきました。日本国内においては、これまでの治療実績が累計820例を超えており、個人としては日本最多の症例数です。現在では、日本国内EMSのすべてのクリニックにおいてラジオ波治療への対応が可能な体制を整えており、症状や状態・経過に応じた柔軟な対応が行われています。こうした国内での経験を基盤として、ベトナムにおいてもラジオ波焼灼療法を行う計画を立て、今回ベトナム国内で初となる腰部ラジオ波治療に成功しました。

02hai 日本国内症例数 820症例

ベトナム国内初 腰部ラジオ波治療を実施



医療法人EMSは、ベトナムにおける海外事業の一環として腰部の慢性的な痛みに対するラジオ波焼灼療法（RFA）を実施しベトナム国内で初の成功例となりました。ラジオ波治療は、これまで限られた医療機関で行われてきましたが、ベトナム国内ではラジオ波治療自体の症例数が少なく、腰部に関しては国内初の症例となります。

腰部ラジオ波焼灼療法は膝関節のラジオ波治療と同じく、エコー画像ガイド下で痛みの原因となる神経をラジオ波で焼灼することで、痛みの緩和を目指す治療です。従来の外科的手術と比べて体への負担が少なく、回復までの期間が比較的小さいことから、慢性的な痛みに対する新たな選択肢として注目されています。

今回は、これまでベトナム国内での導入例がほとんどなかったラジオ波治療を、現地の医療環境に適応させた形で実施しました。医療関係者と治療機器業者が協力して治療に必要な資材を集めました。EMSは、T-Matsuoka Medical Center（TMC）と連携し、治療に関わるスタッフへの手順や考え方の指導・共有を行い、実際に松岡理事長がラジオ波治療を行いました。

現地スタッフとの緊密な連携を通じて治療技術と知見を共有できたことは、今後のベトナム国内におけるラジオ波治療の発展に資する重要な成果となりました。EMSは今後も現地に根ざした医療支援を継続し、患者さんにとって本当に意味のある医療を届けてまいります。

03ba ベトナムBLS講習実施 命を守る知識の普及へ

BASIC LIFE SUPPORT TRAINING

累計受講者数 200人超



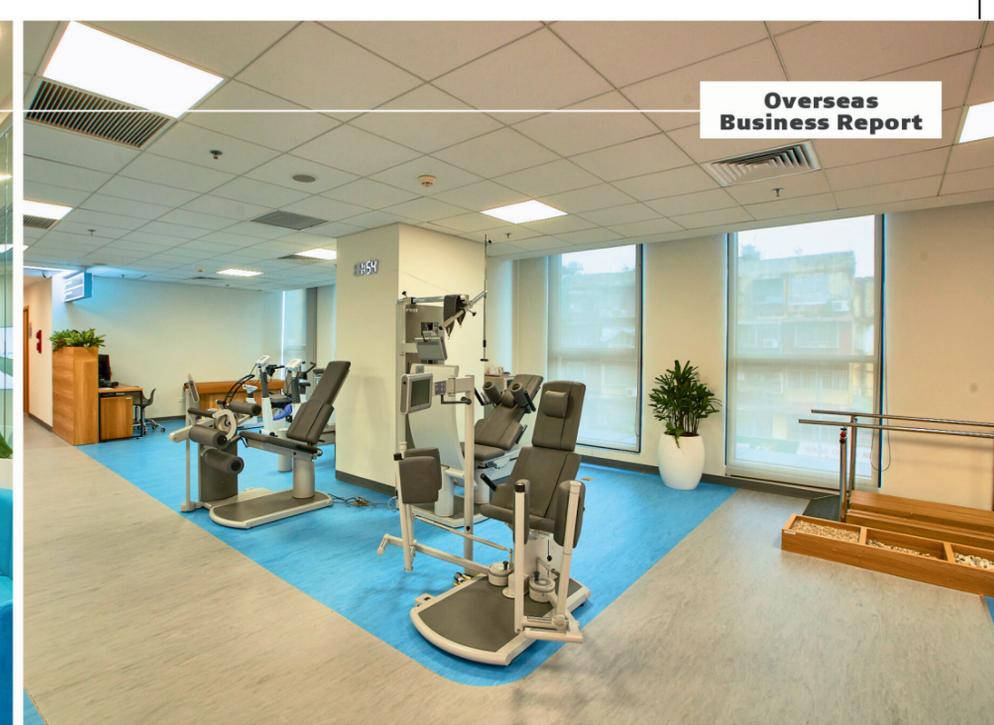
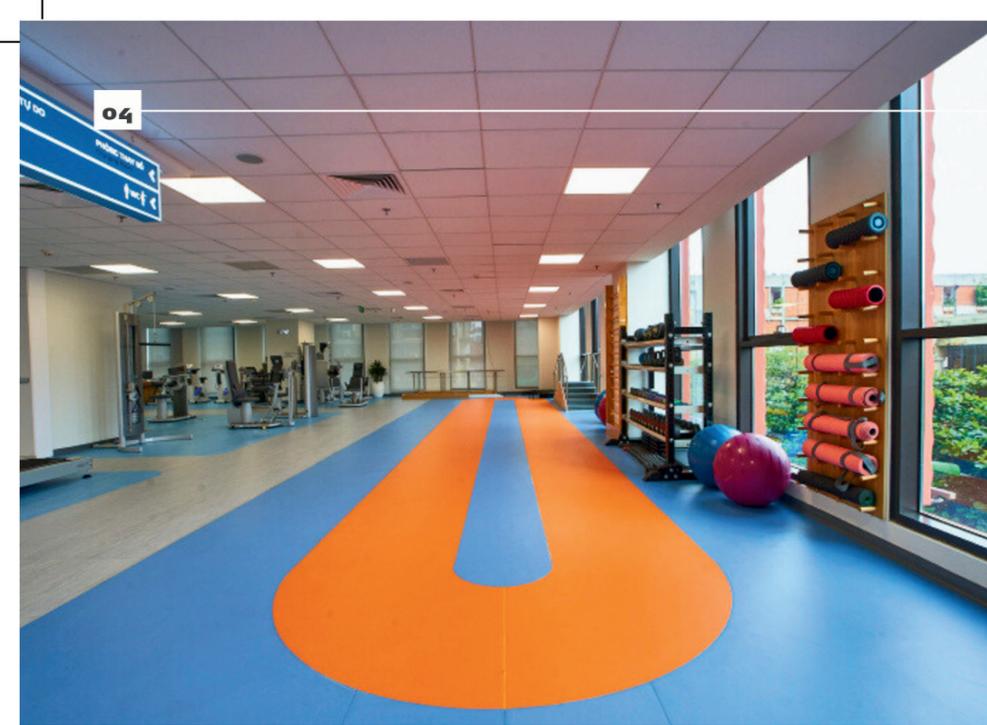
医療法人EMSはベトナムにおける海外事業の一環として、現地関係者を対象とした救急救命BLS（一次救命処置）講習を実施しました。BLS講習は心停止や呼吸停止などの緊急事態に直面した際、医療従事者に限らず一般の人々であっても適切な初期対応を行えるように知識の共有と、人形を用いた心肺蘇生法の実践を行う講習です。

講習は、心肺蘇生法(CPR)やAEDの使用法を中心に、緊急時に求められる基本的な判断と行動について実技を交えながら行われました。

これは今まで体系的に学ぶ機会が限られている現状もあり、参加者からは「実際に自分の体を動かして心肺蘇生法を行うことで、分かりやすく理解することができた」との声が寄せられました。参加者は非常に積極的に取り組み、救急対応への意識向上につながる有意義な講習となりました。ベトナムでは、救急医療体制の整備が進む一方で、BLS講習については一般的に普及していません。現場に居合わせた人々による初期対応の重要性は十分に共有されていない現状があり、BLS講習の普及体制の整備が重要です。

EMSではベトナムに指導者を派遣して定期的にBLS講習を行っていますが、単発的な講習にとどまらず、現地政府や医療機関・関係団体と連携しながらBLS講習の継続的な実施と普及を進めていく方針です。講習内容の標準化や指導者育成も視野に入れベトナムの風土や国民性・地域に根ざした形での展開を検討しています。BLS講習を通じて、緊急時に一人でも多くの人が適切な行動を取れるように現地との信頼関係を深め、今後の海外事業の基盤強化につなげてまいります。





04bốn

Myrehab Matsuoka

ホアンキエム地区に3号店オープン

このたび、「Myrehab Matsuoka Rehabilitation Center」の3号店がベトナム・ハノイのホアンキエム地区にて正式に開店いたしました。当施設はベトナム国内でリハビリテーション分野をリードする事業者である「Myrehab社」との協力のもと医療法人EMSグループと連携して展開しているリハビリテーションセンターです。ベトナム国内では数少ない日本基準のリハビリテーションサービスを提供しています。

3号店の開店初日には多くのお客様にご来院いただきました。様々な最先端のリハビリテーション設備と、ベトナムにいながらにして受けることができる日本水準のサービスに対して大変高い評価とご好評を賜りました。日々のスタッフの丁寧な対応や専門性の高いサービスが地域の皆さまのニーズに合致しており、Myrehab Matsuokaはベトナム国内の優良企業TOP20にも選出されています。

また、当センターはベトナム全土への展開を視野に入れて今後さらなる拡大を予定しております。現地スタッフの技術向上や日本からの専門家による継続的なサポートを通じて、地域の健康課題に寄り添うサービスを提供し続けてまいります。今後も、一人でも多くの方がより健康で希望に満ちた生活を送れるよう、スタッフ一同、使命感をもって取り組んでまいります。



8x8 MUSIC FESTIVAL

FOODSTALL POP-UP SHOP

2025年10月4日5日に福岡県久留米市百年公園で音楽フェス「8x8 MUSIC FESTIVAL 2025 (エイトバイエイトミュージックフェスティバル)」が開催されました。「8x8 MUSIC FESTIVAL」は地域の音楽・文化・食を次世代に継承することを目的として多彩なアーティストによるステージやグルメエリアが展開された大型イベントです。私たち広域医療法人EMSはフードトラック形式のPOP-UPショップ出店という形で参加しました。



EMSのブースは「EMS CAFE」としてキッチンカーエリアに設けられ全国に展開する救急クリニックの拠点地域にゆかりのある名産品や料理を取りそろえました。鹿児島県枕崎市の最高級本枯節を使っただし効いたそうめんや出汁たこ焼き、長崎エリアの特産品である西海みかんジュース、ベトナム直輸入の本場パインミーやコーヒーなど多彩な味覚を通じて来場者に“地域の魅力”を楽しんでいただきました。



今回の音楽フェスへの出店は単なる飲食の提供にとどまらず、多くの来場者や他出店者の皆さまと交流を深める中で、医療法人としての地域貢献への姿勢や取り組みを直接お伝えする機会にもなりました。また、各地の名産品を活用した取り組みによって、医療の枠を超えた多角的な社会活動の意義を改めて確認する機会となりました。私たち広域医療法人EMSは今後も地域の文化や魅力を広く発信していくとともに、医療法人としての社会的価値を高める、意義ある取り組みを継続してまいります。



広域医療法人EMS presents 鹿児島県児童文化会

未来を育てる食卓

食事と音楽と学びの集い



2025年11月29日 枕崎お魚センターにて「第2回 広域医療法人EMS 鹿児島県児童文化会～未来を育てる食卓～食事と音楽と学びの集い」を開催いたしました。昨年に引き続き、2回目となる今回のこの催しには鹿児島県内の児童養護施設より約120名の子ども達と関係者の皆さまにご参加いただきました。

この鹿児島県児童文化会は鹿児島県内の児童養護施設で生活する子ども達を招待し美味しい料理・生演奏・和太鼓演奏などを通じて子ども達が心身共に健やかに成長し、未来を切り開く力を得られることを願って企画しております。第1回を終えた直後から、第2回の開催を強く希望する声が多く上がっていました。今年で2回目の開催となり、参加した子ども達は前回よりもリラックスした様子で、多くの笑顔があふれる温かな会となりました。また鹿児島県子ども政策局局長、鹿児島県県議会議員、枕崎市長をはじめ多くのご来賓の皆さまにもご臨席いただきました。

広域医療法人EMSは、今後も継続的な取り組みを通じ、子ども達の健やかな成長を支え、支援の輪が鹿児島県全域へ広がることを目指して活動を続けてまいります。

▶子ども達からお礼のお手紙をいただきました

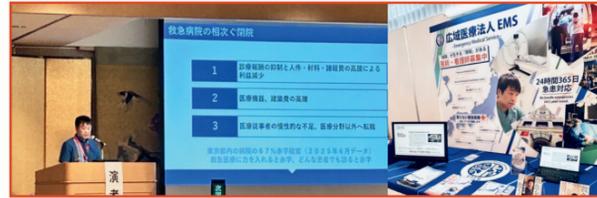


- ご協賛企業・ご協賛者の皆様
- 博多食文化の会様
 - 有限会社花月堂寿永様
 - パンとヨカの店 t e m a h i m a 様
 - 株式会社八つちゃん堂様
 - 株式会社明治屋様
 - 有限会社かつまる造花店様
 - さつま揚げ松野下浦銚長吉屋様
 - 株式会社西原商会様
 - 日本生命保険相互会社様
 - 株式会社 E N E X I A 様
 - 大衆酒場チキンマン様
 - 幸丸食品様
 - 丸航丸様
 - 株式会社フイデスワン様
 - 株式会社西村浅盛商店様
 - 有限会社薩摩蒸気屋様
 - 株式会社小田屋様
 - 菓子工房いづみや様
 - 山福製菓有限会社様
 - セイイ食品株式会社様
 - 池脇晋輔様
 - 鹿児島国際大学音楽学科様
 - 枕崎お魚センター様
 - 丸国鯉節店様
 - 有限会社新屋米穀店様
 - 株式会社カシヤ様
 - 南日本新聞枕崎販売所様
 - 株式会社枕崎超低温様
- 順不同

2025年メディア掲載・講演 ご紹介



▲ 羽田空港にEMSグループ看板設置



▲ 第29回日本救急医学会九州地方会シンポジウムにて発表



▲ 朝日新聞で3週間連続特集



▲ 鹿児島県 南日本新聞主催シニアなるほどゼミナールにて講演



▲ ホーチミンの顧客に人間ドックの重要性について講演



▲ 長崎新聞に掲載



▲ 病院経営が困難な時代の新たなシステムとして紹介



▲ アジア太平洋地域の医師への海外講演



▲ 週刊現代にて地域医療の好事例として紹介



▲ FUJIFILM記念セミナー講演

その他

- ・ 日本関節病学会特別シンポジウムにて講演
- ・ 情報7daysニュースキャスターで放送
- ・ 佐賀救急医学会で基調講演
- ・ ミャンマーチャリティーイベントに協賛
- ・ ノバルティスファーマ社内研修にて講演
- ・ 上智福岡中学高等学校で講演
- ・ 立憲民主党の鹿児島県支部にて講義



▲ 第53回日本救急医学会総会・学術集会発表

講演 ————— 14回
 施設見学 ————— 4件
 新聞・TV取材 ——— 8回
 出版 ————— 1冊



▲ 西海救急クリニックを視察された佐世保米軍基地担当者様。

在日米軍佐世保診療所による西海救急クリニック視察

在日米軍佐世保診療所の皆さまが、西海救急クリニックを視察のため来院されました。今回の視察は米海軍佐世保基地における救急患者受け入れ体制の構築を目的とし、当院の設備や診療体制について説明しながら意見交換を行いました。米軍側からは、現在の救急医療体制には多くの課題があるとの話があり、当院の現場をご覧いただいたうえで、「できるだけ早く受け入れをお願いしたい」との評価をいただきました。今後は、保険会社との調整を進めながら、受け入れ体制の整備を進めていく予定です。

また、当院の医療システムについて、アメリカの医療体制に近く、日本では比較的柔軟に対応できる点が評価されました。一方で、日本の制度上の制約により、運用面で調整が必要になる点についても意見が交わされました。EMSグループでは、海外からの患者対応を見据え、英語によるコミュニケーショントレーニングを継続しています。神田院に続き、西海救急クリニックでも外国人患者の受け入れを段階的に進めていきます。今回の取り組みは初めての試みですが、今後連携が進めば、他の分院においても在日米軍との協力体制を検討していく方針です。



▲ 視察後は今後の連携についての協議を行いました。

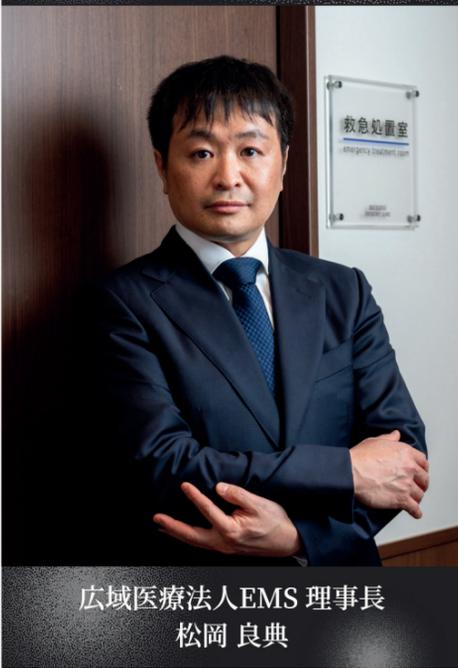
長崎・西海米軍基地連携

国を超えた医療連携へ
 佐世保米軍基地との新たな一歩となる意見交換を実施

理事長挨拶

Chairman's Message
2025-2026

広域医療法人EMSの歩み



広域医療法人EMS 理事長
松岡 良典

2026年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年はベトナムにおいて、ハノイおよびホーチミンに新たな施設を開設いたしました。健診センター「NURA」、そしてリハビリ施設「マイリハ松岡リハビリセンター」でございます。

3年前、ベトナムで初めて私たちの取り組みが現地の皆様に受け入れられて以来、短期間で6施設へと成長できましたことは大変喜ばしく心より感謝申し上げます。

現在、私たちのベトナムでの成長は近隣のアジア諸国からも注目されており、各国より事業展開のご提案をいただいております。

今後はその期待に応えるべく、慎重かつ着実に事業拡大を進めてまいります。

国内に目を向けますと、昨年2月長崎県に「西海救急クリニック」を開設し、1年が経過いたしました。これによって、西海市の救急医療体制は大きく変化し、夜間の救急診療において市民の皆様が安心していただける体制を構築できたものと自負しております。

振り返れば12年前に南九州市の片田舎で始まった救急クリニックの仕組みが全国へ広がり、現在では全国各地の行政から開設のご相談をいただくまでになりましたことは誠に感慨深いものがございます。

今後も行政と協力し、日本全国の救急医療過疎地へ安心できる医療体制を届けてまいりたいと考えております。

さらに今年はいよいよ沖縄県における救急クリニック建設が始まります。

沖縄県は若年人口が多く、子どもたちの救急医療体制の充実が喫緊の課題です。日本の明るい未来のためにも、次世代を担う子どもたちの救急医療を守り続けてまいります。

また、私たちのグループでは日本の未来を担う子どもたち、とりわけ児童養護施設で生活する子どもたちが明るい希望を持てるよう「未来を育てる会」として音楽と食事のイベントを年1回開催しております。

子どもたちと直接向き合い、日本の未来を共に考える機会を創出することも私たちの大切な使命の一つであると考えております。

昨年は多くのメディア取材を受けた1年でもありました。私たちの取り組みが社会的に評価されることは大変ありがたいことであると同時により一層の責任を自覚する契機でもあります。

今後も皆様の信頼に恥じることのないよう真摯に医療と向き合い、日本の将来の救急医療を担う医療機関へと成長していくことをここにお願い申し上げます。

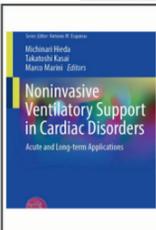
本年も変わらぬご支援を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

◆刊行書籍

Noninvasive Ventilatory Support in Cardiac Disorders

Book

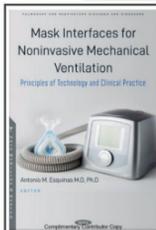
集中治療、心臓病学、救急医療の第一人者たちによって執筆された本書は、急性または慢性心不全患者における非侵襲的換気（NIV）支援装置の使用に生じる心機能と呼吸機能の複雑な相互作用を深く掘り下げています。



Mask Interfaces for Noninvasive Mechanical Ventilation

Book

本書は、非侵襲的機械的換気におけるマスクインターフェース分野の最近の技術進展について、実践、臨床的意義を専門家からの詳細に包括的な解説とともに、呼吸器・集中治療分野における知見を提示する書籍です。



救急を救う男 / 救急を救う男2

Book



Text & edit / Matsuka Yoshinori

救急医療の、その先へ。広域医療法人EMSが踏み出す一歩。

広域医療法人EMSは24時間365日体制の「断らない救急医療」をモットーに地域医療を支え続けてきました。同時に健診事業・先進医療の導入・人材育成から、カフェ事業・音楽フェスへの出店、さらには海外医療事業など、常に新たな挑戦を続けています。

医療は、一人では成り立ちません。医師・看護師・救急救命士・放射線技師・検査技師・事務スタッフ・通訳・コーディネーター等々... それぞれが協力して個々の専門性が重なり合ったときに、はじめて“チーム医療”としての力を発揮します。

広域医療法人EMSには、年齢や職種・国籍を越えて「医療に本気で向き合いたい」「社会に貢献できる活動をしたい」仲間が集まっています。全国各地への展開、そして海外へ。変化を恐れず、次の医療を共に切り拓く。それが、EMSの働き方です。



医療法人EMSで
私たちと一緒に働いてみませんか？

- お問い合わせは本誌裏面に記載の事務局または各クリニックまで、お気軽にご連絡ください -

救急医療に特化した実践フィールド

全国各地の救急クリニックで急患対応や外来診療に携わり、専門スキルを磨けます。

24時間365日体制の救急受け入れ

地域住民の安心につながる、途切れない医療体制を支える仕事です。

先進機器と多領域診療

CT・MRIなどを備え、救急から一般診療まで幅広い診療に関わることができます。

全国・海外でのキャリア機会

国内複数拠点に加え、海外医療事業にも取り組んでいるため多様なキャリアを描けます。